7月の農薬

No.4－1

令和３年７月１日

安全安心な農作物を生産していくために、農薬の使用方法を守るとともにこれまで以上に飛散防止に努めましょう。

水　稲

葉いもち：夜温が高く曇天・降雨が続く場合は注意が必要です。
早期発見に努め、発生の初期に防除しましょう。
穂いもち：出穂前後の防除が重要です。
斑点米カメムシ類：県の予察情報を参考に防除してください。

（倒伏軽減剤）

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な使用目的	使用方法、使用薬量
7月上～下旬	スマレクト粒剤	3kg	－	倒伏軽減	10ａ当り２～３kg。 **出穂７～20日前**に湛水して均一に散布する。 **重複散布や多量散布は絶対にしない。**
	ロミカ粒剤	3kg	－	倒伏軽減	10ａ当り２～３kg。 **出穂25～10日前**に湛水して均一に散布する。 **重複散布や多量散布は絶対にしない。**
	ビビフルフロアブル	100mℓ	－	倒伏軽減	10ａ当り薬量100mℓ・水量150ℓ、**出穂10～２日前**均一に茎葉散布する。
	ビビフル粉剤ＤＬ	3kg	－	倒伏軽減	10ａ当り３～４kg。 **出穂10～５日前**に茎葉部均一にかかるように散布する。 降雨直後・降雨が予想される場合は散布を控える。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用薬量
7月上旬	**トレボン乳剤**	500mℓ	－	（イナゴ類）	2,000倍を散布する。なお、薬剤は畦畔等も含めて散布する。また、散布前に畦畔の草刈りを実施すると効果が高まる。
7月上旬～7月下旬	**ダブルカット粉剤３ＤＬ**	3kg	－	葉いもち ６月中旬～７月下旬 穂いもち （第１回） ７月下旬～８月上旬	10ａ当り 粉剤３kg 液剤 乳剤 ゾル （フロアブル） 1,000倍（100mℓ/100ℓ） 120ℓ/10aを散布する。 ノンブラスおよびブラシンは発病後も効果が大きく８月上旬頃まで使用できる。
	ビーム粉剤ＤＬ		－		
	ラブサイド粉剤ＤＬ		－		
	ノンブラス粉剤ＤＬ		－		
	ブラシン粉剤ＤＬ		－		
	ブラシンフロアブル	500mℓ	－		
	ノンブラスフロアブル		－		
	ラブサイドフロアブル		－		
	ダブルカットフロアブル		－		
	トライフロアブル		－		
	ビームゾル		○		
	ゴウケツ粒剤	3kg	－	穂いもち	出穂10～14日前。10ａ当り３～４kg。
	コラトップ粒剤５		－		出穂５～30日前。10ａ当り３～４kg。
	コラトップ豆つぶ	250ｇ	－		出穂５～30日前。10ａ当り250ｇ。
	コラトップジャンボ	500ｇ	－		出穂5～30日前。10ａ当り10～13パック。
7月中	モンカット粒剤 リンバー粒剤 モンガリット粒剤	3kg	－	紋枯病	**出穂20日前**に10ａ当り４kg湛水して散布する。使用時期を遅れないようにする。
7月下旬	モンカットファイン粉剤20DL	3kg	－		10ａ当り４kg散布する。
	モンセレン粉剤ＤＬ		－		
	バリダシン粉剤ＤＬ		－		
	モンカットフロアブル	500mℓ	－		1,000倍（100mℓ/100ℓ）を10ａ当り120ℓ散布する。
	バリダシン液剤５		－		
	モンセレンフロアブル		－		1,500倍（67mℓ/100ℓ）を10ａ当り120ℓ散布する。

※稲こうじ病は、出穂の10～14日前を目安にモンガリット、ブラシン等を散布する。
※カスミンおよびダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」となっておりますので、穂揃期以降に使用させないよう、注意して使用をお願いいたします。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用薬量
7月下旬	ゴウケツモンスター粒剤	3kg	－	いもち病 紋枯病 カメムシ類	**出穂14～10日前**に３～４kg/10ａを散布する。
	スミチオン乳剤	500mℓ	－	イネアオムシ （フタオビコヤガ）	葉先がカスリ状になった被害初期に2,000倍液を120ℓ/10ａ散布する。
				ウンカ類 カメムシ類 （ニカメイチュウ） （イネアオムシ）	1,000倍液を120ℓ/10ａ散布する。
	トレボン乳剤 トレボンＥＷ		－		1,000倍液を120ℓ/10ａ散布する。 イナゴ類の適用あり。
	スミチオン粉剤３ＤＬ	3kg	－		10ａ当り３～４kg散布する。
	トレボン粉剤ＤＬ		－		10ａ当り３～４kg散布する。 イナゴ類の適用あり。
	スタークル豆つぶ	250ｇ	－	ウンカ類 カメムシ類 （ツマグロヨコバイ）	250ｇ/10ａ　省力化剤 水深を３～５㎝程度に保ち出穂期を目安に処理する。
	キラップ粒剤	3kg	－		**出穂期～出穂10日前**を目安に10ａ当り３kgを散布する。

水稲除草剤

○成長したホタルイの残草にはバサグラン液剤をご使用ください。
（粒剤では、効果が劣る場合があります。）
○ノビエの残草もある場合は、クリンチャーバスME液剤をご使用ください。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象雑草	使用方法、使用薬量
7月上旬	**バサグラン粒剤** **バサグラン液剤**	3kg 500mℓ	－	ミズガヤツリ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ クログワイ 広葉雑草	**前日落水して散布し、散布後３～４日間は入水しない。** バサグラン粒剤　３～４kg/10ａ バサグラン液剤は500～700mℓを水70～100ℓ/10ａに溶かし散布する。 **高温時はバサグラン液剤で葉先に薬害が出やすいので注意する。**
	トドメＭＦ乳剤	200mℓ	－	ノビエ（**７葉期未満**）	100ℓ/10ａの水に200mℓの薬液を溶かして散布する。濡れ性を高めた製剤処方のため、展着剤が不要。
	トドメＭＦ１キロ粒剤	1kg	－	ノビエ（**５葉期未満**）	２週間程度ヒエの発生を抑制する効果もある。
	クリンチャーＥＷ	100mℓ	－	ノビエ（**6.0葉期未満**）	茎葉処理剤なので、**浅水**にし、散布する。100mℓ/10ａの薬量を100ℓ/10ａの水量に希釈する。
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	－	ノビエ（**4.0葉期未満**）	1kg/10ａノビエ４葉期まで 1.5kg/10ａノビエ５葉期まで
	ヒエクリーン豆つぶ	250ｇ	－	ノビエ（**4.0葉期未満**）	250ｇ/10ａ省力処理剤ノビエ４葉期７月５日頃までを目処に使用する。
	クリンチャーバスME液剤	500mℓ	－	ノビエ（**5.0葉期未満**） トドメバスＭＦのみ６葉期未満 水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ	100ℓ/10ａの水に1,000mℓの薬液を溶かし散布する。**落水**して散布し、散布後３～４日間は入水しない。
	トドメバスＭＦ液剤	500mℓ	－		
	ワイドアタックＳＣ	100mℓ	－		100ℓ/10ａの水に100mℓの薬液を溶かし散布する。**落水**して散布し、散布後２～３日間は入水しない。
	ワイドパワー粒剤	3kg	－		砂壌土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水をしてから散布し２～３日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。 ※ワイドパワー粒剤は「ワイドアタック」と「バサグラン」の混合剤になるので広葉雑草への効果◎
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	3kg	－		

・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。

もっと近くに。
ＪＡ全農山形

全農山形県本部　生産資材部
０２３－６８７－８７００
０２３－６３４－８１８２

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

7月の農薬

No. 4 － 2

令和３年７月１日

園地の生育状況に合わせた適期防除をお願いします。

りんご

○黒星病が増加傾向です。発生が見られるところでは防除間隔を10日間以上あけないよう防除を徹底しましょう。
○降雨が続く場合は輪紋病の多発に要注意です。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
7月上旬	有機リン剤 加用 有機殺菌剤 クレフノン			ハマキムシ モモシンクイガ	有機リン剤の項参照下さい。		
				斑点落葉病 黒星病 褐斑病 すす点病 すす斑病 輪紋病	有機殺菌剤の項参照下さい。		
※有機殺菌剤	**オキシラン水和剤**	500g 1kg 1.67kg	－	黒星病 すす点病 すす斑病 輪紋病	600倍 167g	700ℓ 1,167g	有機銅キャプタン剤
	オキシンドー水和剤80	500g	－	斑点落葉病	1,200倍 83g	700ℓ 583g	有機銅剤
※有機リン剤	サイアノックス水和剤	500g 1kg	－	シンクイムシ類 ハマキムシ類 (キンモンホソガ) (ギンモンハモグリガ)	1,000倍 100g	700ℓ 700g	いずれか
	スプラサイド水和剤	500g	○		1,500倍 67g	700ℓ 467g	
(注)・この時期キンモンホソガの発生が多い場合は有機リン剤に代えてノーモルト乳剤4,000倍または、モスピラン顆粒水溶剤2,000倍を加用する。(ボルドー液との混用可) 蚕毒注意。 ・農薬の混用については、混用事例参照すること。							
7月中旬	有機殺菌剤			斑点落葉病 褐斑病 すす点病 すす斑病 輪紋病	※有機殺菌剤の項参照ください		
	有機リン剤			モモシンクイガ ハマキムシ (キンモンホソガ)	※有機リン剤の項参照下さい。		
7月下旬	バリアード顆粒水和剤	250g	○	シンクイムシ類 (モモシンクイガ) キンモンホソガ (カメムシ類)	2,000倍 50g	700ℓ 350g	いずれかを散布。 ボルドー液とは混用・接近散布はしない。
	スタークル顆粒水溶剤	250g	－		2,000倍 50g	700ℓ 350g	
	サムコルフロアブル10	200mℓ	－		5,000倍 20mℓ	700ℓ 140mℓ	
	エクシレルSE	200mℓ	－		5,000倍 20mℓ	700ℓ 140mℓ	
	加用 有機殺菌剤	500g	－	斑点落葉病 褐斑病 すす点病 すす斑病 輪紋病	※有機殺菌剤の項参照下さい。 尚、輪紋病の多い園ではオキシラン又は有機銅剤を使用する。		いずれか
	ナリアWDG	250g	－		2,000倍 50g	700ℓ 350g	
	マイトコーネフロアブル	500mℓ	－	ハダニ類	1,000倍 100mℓ	700ℓ 700mℓ	いずれか
	コロマイト水和剤	500g	－		2,000倍 50g	700ℓ 350g	

おうとう

○ハダニの発生が多くなる前に、早めに防除しましょう。
○収穫後の散布は収穫終了次第早急に実施しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考	
7上月旬	**アーデントフロアブル**	250mℓ	－	ショウジョウバエ類	2,000倍 50mℓ	450ℓ 225mℓ	単用で散布する。	
7月中下旬(収穫直後)	オキシラン水和剤	500g	－	せん孔病	600倍 167mℓ	700ℓ 1,167mℓ	混用ダニ剤可と	いずれか
	トレノックスフロアブル	1L	－	褐色せん孔病	500倍 200mℓ	700ℓ 1,400mℓ		
	マイトコーネフロアブル	500mℓ	－	**ハダニ類**	1,000倍 100mℓ	700ℓ 700mℓ	単用散布	
	コロマイト乳剤	500mℓ	－					
7下月旬	ICボルドー66D	5kg	－	せん孔病	40倍 2.5kg	700ℓ 17.5kg		

西洋なし

○輪紋病、胴枯病の重点防除時期なので、降雨前後の防除指導をお願いします。
○胴枯病の見られる園地では、小黒点病斑の削り取りと塗布剤処理を行ってください。
○７月下旬以降、ハダニの発生が見られたら、コロマイト水和剤を単剤で散布してください。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考		
7月上旬 有機殺菌剤	**オキシラン水和剤**	500g 1.67kg	－	輪紋病	600倍 167g	450ℓ 750g	いずれか	クレフノン加用	混用散布
	オキシンドー水和剤80	500g	－		1,200倍 83g	450ℓ 375g			
	ダーズバンDF	167g	○	シンクイムシ類 ハマキムシ類	3,000倍 33g	450ℓ 150g			
7月中旬	パレード15フロアブル	250mℓ	－	輪紋病	2,000倍 50mℓ	450ℓ 225mℓ			
	モスピラン顆粒水溶剤	250g	○	アブラムシ類 ハマキムシ類 シンクイムシ類 (カメムシ類)	2,000倍 50g	450ℓ 225g	いずれか		
	スタークル顆粒水溶剤	250g	－		2,000倍 50g	450ℓ 225g			
7月下旬	マイトコーネフロアブル	500mℓ	－	ハダニ類	1,000倍 100mℓ	400ℓ 400mℓ	いずれか		
	コロマイト水和剤	500g	－		2,000倍 50g	400ℓ 200g			
	ICボルドー412	5kg 10kg	－	輪紋病	30倍 3.3kg	600ℓ 20kg			
	又は 有機殺菌剤				※有機殺菌剤の項参照ください				
※殺虫剤については、７月上・中旬の剤より選択のうえ、防除を行う。									

ぶどう

収穫期近くになったら果実の汚染、果粉溶脱に注意して防除してください。

散布時期		農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考	
デラウェア	7月上旬	オンリーワンフロアブル	250mℓ	－	晩腐病 (さび病) べと病 褐斑病	2,000倍 50mℓ	250ℓ 125mℓ	いずれか	べと病の多発する園では7月上・中・下旬散布(クレフノン加用)
		コサイド3000 加用 クレフノン	500g	－		2,000倍 50g	250ℓ 125g		
			10kg 12kg			100倍 1kg	250ℓ 2.5kg		
	7月中旬	ストロビードライフロアブル	250g 500g	－	べと病 晩腐病 褐斑病	2,000倍 50g	250ℓ 125g		
		コロマイト水和剤	100g 500g	－	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	発生の多い場合単用散布する。	
大粒種	7月上旬	ストロビードライフロアブル	250g 500g	－	褐斑病・べと病 晩腐病・(さび病)	2,000倍 50g	250ℓ 125g		
		ダントツ水溶剤	250g	○	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ	2,000倍 50g	250ℓ 125g		
	7月中旬	オーソサイド水和剤80	500g	－	褐斑病・べと病 晩腐病・さび病	800倍 125g	250ℓ 312g		
		コロマイト水和剤	100g 500g	－	ハダニ類	2,000倍 50g	250ℓ 125g	発生の多い場合単用散布する。	
		アーデントフロアブル	250mℓ	－	アザミウマ類	2,000倍 50mℓ	250ℓ 250mℓ		
	7月下旬	ランマンフロアブル	100mℓ 500mℓ	－	べと病	2,000倍 50mℓ	250ℓ 125mℓ	袋かけ直後いずれかを散布	
		ライメイフロアブル	100mℓ 500mℓ	－		4,000倍 25mℓ	250mℓ 63mℓ		
		ICボルドー48Q	5kg	－		50倍 2kg	250ℓ 5kg		

※ストロビードライフロアブルは単用散布する。

もも

○乾燥した日が続いているので、ハダニ類や害虫の発生に留意してください。
○高温多湿が続いたら灰星病の防除を実施してください。

散布時期		農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考	
7月上旬		※有機リン剤加用			アブラムシ シンクイムシ モモハモグリガ	有機リン剤の項参照。			
		トレノックスFL	1L 2L	－	黒星病 灰星病	500倍 200mℓ	400ℓ 800mℓ		
		展着剤		－					
7月中下旬	灰星病重点防除	有機リン剤				有機リン剤の項参照。			
		ベルクートフロアブル	500g	－	灰星病 ホモプシス腐敗病	1,000倍 100g	400ℓ 400g	いずれか	加用散布
		オンリーワンフロアブル	250mℓ	－		2,000倍 50mℓ	400ℓ 200mℓ		
		展着剤		－					
7月下旬		※※殺ダニ剤加用			ハダニ	殺ダニの項参照。			
		スカウトフロアブル	500mℓ	○	モモハモグリガ シンクイムシ類 (カメムシ類)	2,000倍 50mℓ	400ℓ 200mℓ		加用散布
		パレード15フロアブル	250mℓ	－	灰星病 黒星病	2,000倍 50mℓ	400ℓ 200mℓ		
薬剤名		**※有機リン剤**							
		ダイアジノン水和剤34	500g	○	シンクイムシ類 アブラムシ類 (モモハモグリガ) (カイガラムシ類)	1,000倍 100g	400ℓ 400g		
		ダーズバンDF	167g	○		3,000倍 33g	400ℓ 133g		
		スプラサイド水和剤	500g	○		2,000倍 50g	400ℓ 200g		
		※※７月のもも殺ダニ剤 詳細は果樹殺ダニ剤適用表参照。							
		薬剤名	規格	譲渡書	リンゴハダニ / ナミハダニ				
		コロマイト乳剤	500mℓ	－	◎ / ◎	1,000倍 100mℓ	700ℓ 700mℓ		
		マイトコーネフロアブル	500mℓ	－	○～△ / ◎	1,000倍 100mℓ	700ℓ 700mℓ		

かき

７月中のボルドー液の散布は黄変落葉を助長するので、樹勢の弱い園地や曇雨天の続く場合は使用しない。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考	
7月中下旬	ベルクートフロアブル	500g	－	落葉病 炭そ病 うどんこ病 (すす点病)	1,000倍 100g	500ℓ 500g	いずれか	
	オキシンドー水和剤80	500g	－					
	ダントツ水溶剤	125g 250g	－	アザミウマ類 (コナカイガラムシ) (カメムシ類)	4,000倍 25g	500ℓ 125g	いずれか	
	スプラサイド水和剤	500g 667g	○	チャノキイロアザミウマ カメムシ類 (コナカイガラムシ)	1,500倍 67g	500ℓ 333g		
	展着剤		－					